

中納言安倍広庭 卿の歌一首
ちゅうなごん あへのひろにはまへつきみ うた

九七五番

かくしつ つ あらくを良みぞ たまきはる 短き
いのち なが ほ
命を 長く欲りする

五年癸酉、草香山を越ゆる時に、
かみこそこのいみき
神社忌寸

老麻呂の作る歌二首
おゆまろ つく うた

九七六番

難波潟 潮干のなごり よく見てむ 家なる妹が
なにはは がた しほひ
待ち問はむため

九七七番

直越えの この道にてし おしてるや 難波の海
ただこ みち
と 名付けけらしも